

ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム のご案内



一般社団法人

全国食支援活動協力会

Meals on
Wheels Japan

専務理事 平野 覚治

全国食支援活動協力会とは

1986年

高齢者配食サービス・会食会の連絡会組織として設立

2016年9月

「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアー」事務局

2019年11月

休眠預金活用事業「子ども食堂サポート機能設置事業」

2020年～

新型コロナウイルスが発生・流行

こども食堂サポートセンターをはじめ、各地の中核拠点より食支援のニーズが寄せられる

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムプロジェクト」始動

活動団体の連絡会組織、活動支援、情報発信、啓蒙活動 に取り組んでいました

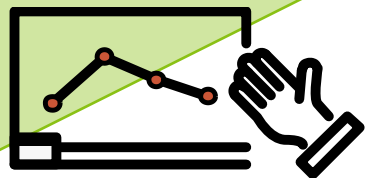
農水省「販路多様化事業」(2020,2021)

厚労省「ひとり親家庭等の食事等支援事業」(2021,2022)

「見守り体制強化促進のための広報啓発事業」(2022)

(株)王将フードサービス「お子様弁当」無償提供マッチング(2021,2022) ほか、様々な活動・連携





コロナ禍における子どもの居場所の課題と現状

2019年

新型コロナウイルスの流行

三密回避のため、各地で**お弁当の配食**や**フードパントリー**が急速に広がる



子ども支援⇒世帯支援へと活動・負担が拡大

- ✓ 世帯支援による食数の増加
- ✓ 包材調達による支出の増加
- ✓ 物価の高騰による家計への打撃
- ✓ 生産調整・物価高騰他による寄贈の減少



2020年～

全国へ寄付食品をつなぐ

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム(通称MOWLS)」の始動

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」(通称:MOWLS)



子ども～高齢者まで、全国のこども食堂等「居場所」に
集うすべての人が食事を得られる環境づくり

寄贈食品を全国に届けるため、全国のネットワークへの
食糧分配(シェア)、各地への配送(物流)、食糧保管倉庫(ストック)の整備を行う

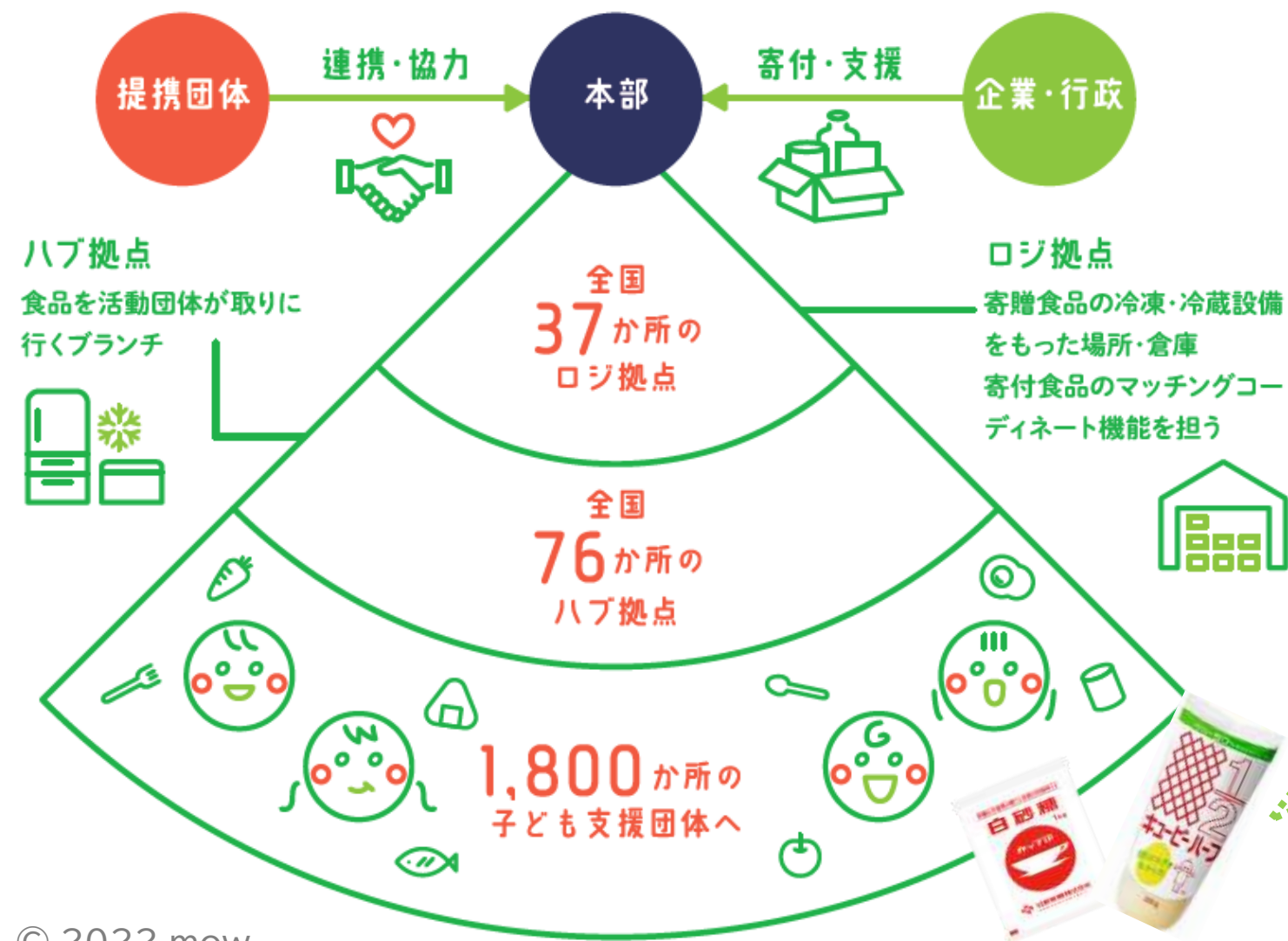
特 徴

全国のネットワーク / 安心・安全な仕組み / 新たな市場＝情報の流れる仕組み / 無料

小さい活動団体でも食品寄贈が受けやすいよう、全国に共有の冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースを整備
寄贈をサポートするWEBシステムの開発や物流プロジェクト、企業・行政への学習会を開催



「MOWLS」は支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを目指しています。

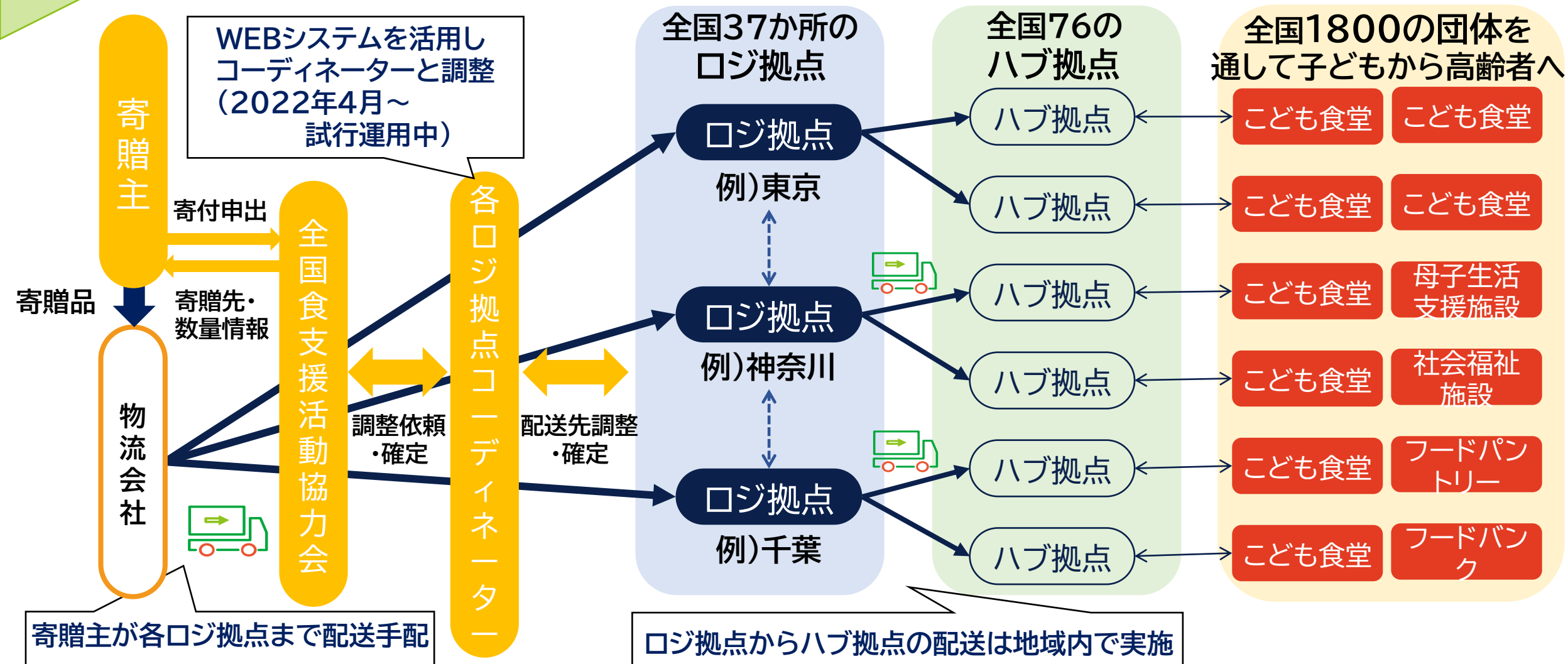


- ✓ 寄贈食品活用により食糧費を削減、活動団体の運営費負担を軽減
- ✓ まとめて納品・荷受けすることで寄贈時の**配送費**と**調整負担**を軽減
- ✓ 小さいな団体も寄贈が受けられる環境整備

各地域のネットワークによる**全国への食糧支援**の取組として農水省HPに掲載いただいています



MOWLSの仕組み



コーディネーター:
寄贈品受取希望有無の回答・送付先
の調整・決定を行う



ロジ拠点: 一次受け拠点
大量の寄贈食品の保管機能をもった場所・倉庫
常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応



ハブ拠点: ロジ拠点の支店
活動団体が取りに行ける距離に設置された、
冷凍・冷蔵設備を有する拠点(設置は推奨)

MOWLSを通じたパートナー団体

当会では様々なステークホルダーと連携し、食支援に取り組んでいます

連携団体

こども食堂、母子生活支援施設、
多世代居場所等

約 **2,000** 団体

連携企業

食品メーカー、団体、協賛企業等

28 社・機関

行政

厚生労働省、農林水産省、
内閣府、各都道府県庁、
全国社会福祉協議会 等



多様なセクターとの連携・参画を
目指し、企業様向け学習会や
全国で説明会やフェスタを
開催しています！



《2022年度実績》



『MOWLS』を通じて全国への食料支援が実現できます！

企業と全国の食を通じた居場所をつなぐ分配機能

1. 全国の居場所に届けることができます。寄贈の申し出をいただければ、配送希望エリアに応じて、当会が分配を引き受けます

三温度帯対応の全国ネットワークはMOWLSだけです

2. 常温品に限らず冷凍・冷蔵品の寄贈も対応できます

【安心・安全】食品取扱の注意喚起・合意を都度チェックします

3. 不適切な食品の取扱いを防ぎ、寄贈者・受取団体ともに事故から身を守ることができます。トレーサビリティの確保と商品の滞留防止を図ります

ポイント配送による輸送費負担を軽減

4. 全国のロジハブ拠点までの配送費で全国の子どもの居場所へ支援ができます

受け取った子ども達・団体の様子



↑アサヒグループ食品様より
2022年8月に食品・お菓子
類・健康食品類の寄贈をいた
だきました



↑キューピーみらいたまご財団様より
2022年10月にパスタソースの寄贈を
いただきました

MOWLSの全国共通の課題と必要な支援

物流



- ・物流会社様による戻り便や
アイドルタイム
を活用した運搬
- ・月1回のルート配送
- ・空きスペースを活用し、荷物を混載

倉庫(ストック)



例: クラレイ株式会社様
冷凍品の受け入れにて協力

- ロジ拠点必要機能
- ・10トントラックOK
 - ・フォークリフトOK
 - ・パレット卸OK
 - ・大型の保管施設/
大型の冷凍冷蔵庫

例: DENBA株式会社の
技術を活用したコンテナ
冷蔵庫

- ハブ拠点必要機能
- ・4トントラックOK
 - ・冷凍冷蔵設備



人手(シェア)



- ・食品の期日管理/品質管理
- ・食品受取希望者への対応
(場合によっては配送)

+ 資金的支援

例: アサヒ飲料の寄付型自動
販売機設置を通したご寄付



MOWLS 物流支援プロジェクト

全国に食品を届けること目的に立ち上げ、物流・保管の課題解決にむけて、中核ロジ拠点の募集や配送テストなどに取り組んでいます

【プロジェクト開始】 2022. 7. 21～

【募集期間】 2022. 10. 1～2023. 10. 1

中核ロジ拠点とは

県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫、大型トラック・パレット納品に対応が可能



中核ロジ拠点設置の目的

- ・大量の食品寄贈(10トントラック、パレット納品)の受け止め
- ・複数メーカーが協働で配送する際の拠点として活用
- ・ロジ間の移動を伴うハブ機能や地域の企業様がエリア外の地域に寄贈する際に活用

【参考:中核ロジ拠点の定義】

場所:5坪程度 トラック:10トントラックの乗入れ可

設備:フォークリフト・パレットを前提とした積み下ろし環境

取り扱う商品:複数メーカーの商品(自社商品や取扱いメーカー以外のものを含む)

※配分は当会で行います。それに基づき仕分け・配送をお願いいたします。

※本取組に関する費用の拠出はございません。無償でのご協力をお願い申し上げます。

募 集 内 容

- ✓ 中核ロジ拠点の設置・運営(①)
- ✓ 拠点間配送網の整備(②)
- ✓ ① ② 両方でのご支援

倉庫の貸し出しや
配送のなどの
ご協力をお願いします



食品・物品の寄贈支援

概要・効果

貴社の製品の寄贈を当会が窓口となり、全国の団体に対し連絡・調整を行います。

常温・冷蔵・冷凍の食品や物品の寄贈ができるほか、貴社のご希望に沿ったアレンジが可能です。

企業名(順不同、敬称略)	※一部抜粋	三温度帯
キューピーみらいたまご財団		常温・冷凍
アサヒ飲料		常温
アサヒグループ食品		常温
日新製糖		常温
サントリー		常温
USMEF		冷凍
王将フードサービス		常温
日本ハム		冷蔵
三菱食品		冷凍
高島屋		冷凍
Mr. CHEESECAKE		冷凍
吉野家		常温

効果

全国1,800の団体に対し、貴社の製品を届けることができます。



キューピーみらいたまご財団様

子どもの居場所づくり約1,900団体に対する寄贈

キューピーハーフマヨネーズ、パスタソース、冷凍果物など、定期的に寄贈いただいています

アサヒ飲料様

子どもの居場所づくり510団体への寄贈

「カルピス」(1,530箱／1施設各3箱)

「カルピス絵本」(合計1,779冊)



冬休みには、アサヒ飲料様よりカルピスがあわせて寄贈されました！

王将フードサービス様

長期休暇にお子様弁当を無償提供

2022年夏休みには約**10万食**を子ども達へ提供

寄贈の受付から分配までの流れ

ステップ1

寄贈商品の ①数量、②賞味期限、③ケースサイズ、
④希望配送エリア(数) などを当会へご連絡いただく

やっていただく作業は
3つのみ！

ステップ2

当会が希望に応じた「ロジハブ拠点別商品受入れ数(一覧)」を作成・提出

ステップ3

拠点先までの配送手配、納品日を当会へご連絡いただく

当会より、各圏域のコーディネーター及び拠点へ納品日を通知

ステップ4

各ロジ拠点・ハブ拠点がこども食堂団体へ寄贈商品をお渡し

ステップ5

当会経由で、商品を受け取ったこども食堂の声や画像を提供
社内外への情報発信にご活用ください

だれもが安心して過ごせる社会を目指して



年末年始厳しい状況にある子育て家庭へ、
「食」を通じた分かち合いを広げるために
MEALS MOWLSを通じた
ご支援をお待ちしております。



▲寄付金も
募集しております

安心して年を越せるように、
子どもたちの笑顔のために

シングルマザーの方々のインフレへの対応は、
まずは自分のことを切り詰め、それでもやりきれない分は食費を切り詰めて子どもたちのために頑張っています。誕生日ケーキを渡した際には、涙で目頭を熱くされ、心から喜んでいる

● 姿に、こちらも目頭が熱くなってきました。
● 報徳食品支援センター様より

物流×ストック×シェア

MEALS



WHEELS

ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム

ご清聴ありがとうございました



一般社団法人全国食支援活動協力会 事務局

HP : <https://www.mow.jp/mow-ls/index.html>

住所 : 東京都世田谷区上用賀6-19-21

TEL : 03-5426-2547

E-mail: saposen@mow.jp

「MOWLS」または
「食支援」で検索

企業・法人名	寄付の内容
公益財団法人 キューピーみらいたまご財団	・キューピードレッシングすりおろしオニオン(180ml)／マヨネーズ(200g) 計 2,580個
	・キューピーハーフ(400g)3万本 キューピーミートソース・フォン・ド・ヴォー仕立て(225g)約3万食
	・アヲハタヴェルデ チョコホイップ(100g) 計10,080個
	・アヲハタ「くちどけいちご」「くちどけりんご」(50g) 1回目:15,120個 2回目:39,040個
	・アヲハタ燻製マヨネーズ(200g) 計45,000個／アヲハタパン工房カレー(150g) 計45,000個
	・キューピーハーフ(300g) 6,000個／キューピーあえるパスタソース10種類 13,176個
	・キューピー和えのもと4種類 17,600個
	・のせる野菜ドレッシング小袋2種 計42,200小袋 ほか、多数
アサヒグループホールディングス株式会社	1回目:商品1億5,000万円分相当 2回目:食品34種類 計733,935個、ハンドクリン2種類 計131,400個 3回目:食品46種類 計188,812個、ベビー用品 計29,088個
アサヒ飲料株式会社	・カルピスウォーター(280ml) 計115,200本／カルピスウォーター(430ml) 計480,000本
米国食肉輸出連合会(USMEF)	・牛肉豚肉・ソーセージ・スパム(ノート、エプロン他) 約2.5t（継続寄付）
日新製糖株式会社	・上白糖2t（年2回の寄贈）
日本ケロッグ合同会社	オールブランシリアル 等 2,838袋
株式会社ドール	マンゴーチャンク缶詰(234g)計60,048個／ピンクグレープフルーツミックス(198g) 計99,312個
ブルボン株式会社	・ミネラル塩飴 グレープフルーツ味 計約15,000袋
雪印ビーンスターク株式会社	・ベビーポカリスエット 計2,159ケース
株式会社セブンーイレブン・ジャパン	・セブンミール 冷凍惣菜・麺セット 計2,240

キュービーみらいたまご財団の活動と MOWLS



2022年11月18日

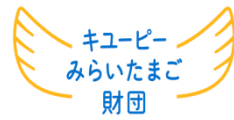
フードサプライチェーン官民連携プラットフォーム

公益財団法人 キュービーみらいたまご財団事務局

1. キューピーみらいたまご財団
2. 財団の活動
3. 子ども食堂の活動実態
4. 企業と子ども食堂支援
5. MOWLSの特徴と仕組み



1. キューピーみらいたまご財団① キューピーの社会活動



キューピーの社会活動のキーワードは「子ども」「食育」

ベルマーク運動 工場見学

1960年から実施。
教育設備助成に協力



工場見学

1961年から実施。
小学校からの社会科見学
要請がきっかけ



講演会活動

1984年から実施。
食生活と健康についての
正しい情報の提供が目的



マヨネーズ教室

2002年から実施。
食の楽しさと大切さを
伝えることが目的



キューピーのサステナビリティ目標

(2019年1月発表)

子どもの心と体の健康支援

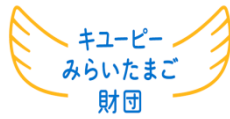
2030年までに、グループの食育活動などで接する
子どもの笑顔の数を、100万人以上にする

(2019年からの累計 ; 2021年度までで22.4万人)

社会への貢献価値を 定量的に測る指標

- ・健康寿命延伸への貢献
- ・資源の有効活用と持続可能な調達
- ・CO2排出削減
- ・子どもの心と体の健康支援
- ・ダイバーシティの推進

1. キューピーみらいたまご財団② 財団の設立と運営



助成対象

「子ども」を対象とする**食育活動、食の居場所づくり活動**

設立

2017年4月（2019年4月から公益財団法人）

設立の背景

2016年頃から子どもの貧困が社会問題化

↓
キューピーが行ってきた食育等の取り組みを継続、進展させるだけでなく、想いを共有しうる団体の活動を広範に支援し**一企業だけでは成し得ない社会活動**に繋がっていききたい

食の大切さを伝え、
食の力で子どもの未来を支える

運営資金

キューピーの株の配当金

- ・150万株（有利発行して財団に交付された株式）
- ・配当金であれば、会社の業績に左右されにくい

助成事業実績

約480団体、約1億6000万円（2017年度～2022年度）

1. キューピーみらいたまご財団③ グループや社員との関わり



社員による子ども食堂 ボランティア応援



グループ商品の寄贈



財団イベントへの従業員参加 (助成授与式交流会)



支店の活動団体での寄贈 商品の荷受け応援作業

2022年度選考準備委員



那覇営業所所長からの 助成証書授与式

2. 財団の活動① 助成内容

◆助成事業（食育活動団体への寄付）◆

2020年度より本格始動

プログラムA

～食育活動支援～

【助成内容】

食育活動としての講座、
イベント、研究に関わる経費



プログラムB

～食を通した居場所づくり
（子ども食堂など）支援～

【助成内容】

拠点改修費、冷蔵庫、厨房機器、
椅子・テーブル、什器等

※スタートアップ助成

1年以内の団体の立ち上げ
支援。食材、光熱費等の運営
資金も可

※新型コロナ禍対応特別助成

物品（食品）助成

～自社商品の寄贈～

【対象】

食を通した子どもの居場所
（子ども食堂など）

【寄贈の流れ】

MOW（全国食支援活動
協会）運営のMOWLS
を通じて寄贈

【寄贈物品】

マヨネーズ、ドレッシング、
パスタソース、ジャムなど

2022年度総助成金 4,052万円 131団体※

A 1,233万円
（26団体）

B 2,819万円
（105団体）

**2022年度
物品寄贈計画
2,000万円**

※2020年度からの3年継続助成4団体を含め

2. 財団の活動② 助成実績

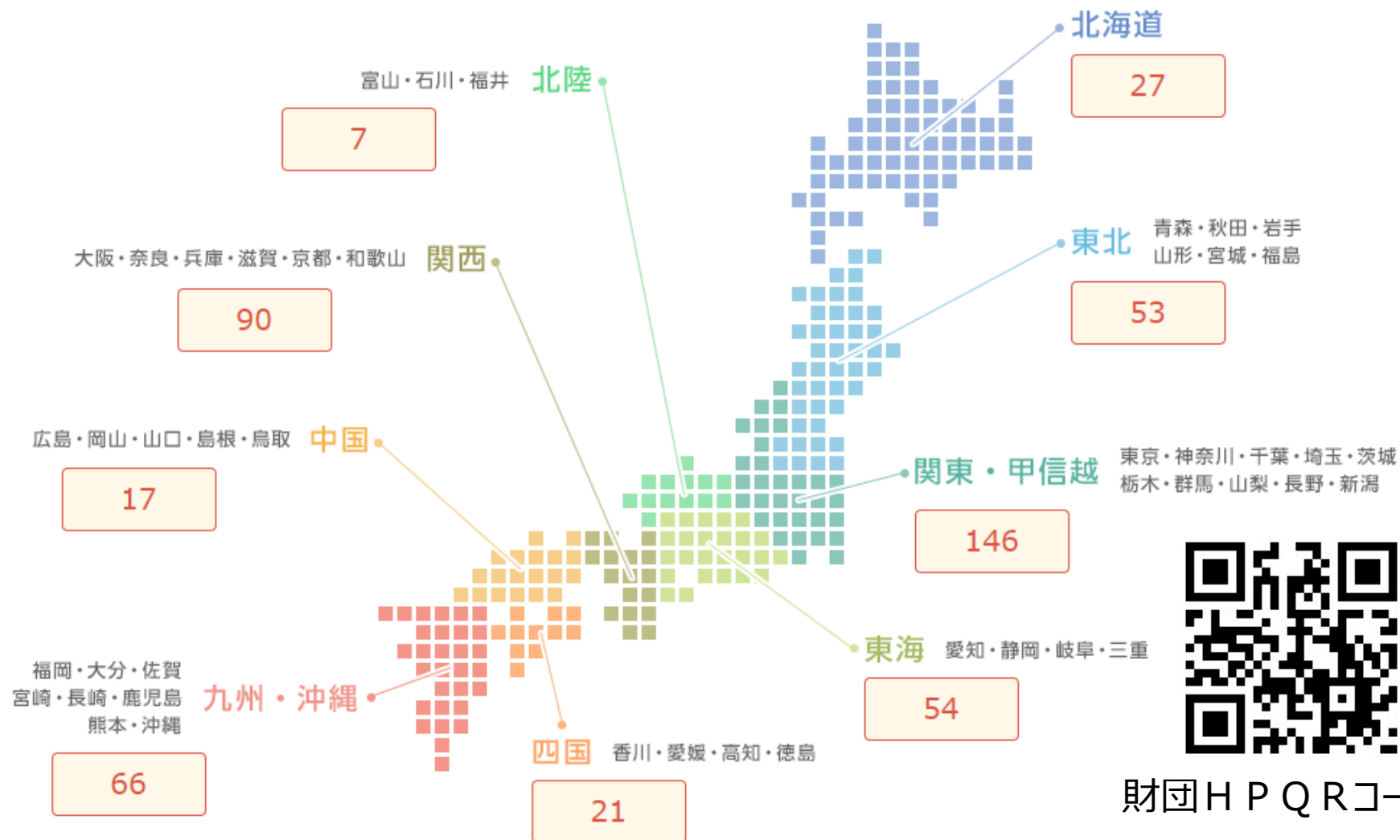
年度を選ぶ:

全年度



例:

< 助成団体数 >



財団HPQRコード

2. 財団の活動③ 居場所づくりサミットの開催



講演と事例報告に加え、50分間のオンライン交流会も実施

団体同士の情報交換会の場になっている

財団役員、関係者も加わり、助成事業のヒントも載っている



地域の居場所づくりサミット

2022年11月5日(土)
10:00～12:20



完全オンライン配信

10:00～10:55

第1部

キューピーみらいたまご財団助成説明会

2023年度助成プログラムについて

講演「改めて考える子どもの居場所づくり」

相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 教授

キューピーみらいたまご財団アドバイザー 堤 ちはる氏

10:55～12:20

第2部

地域の居場所づくり講座

「子ども食堂だからできること

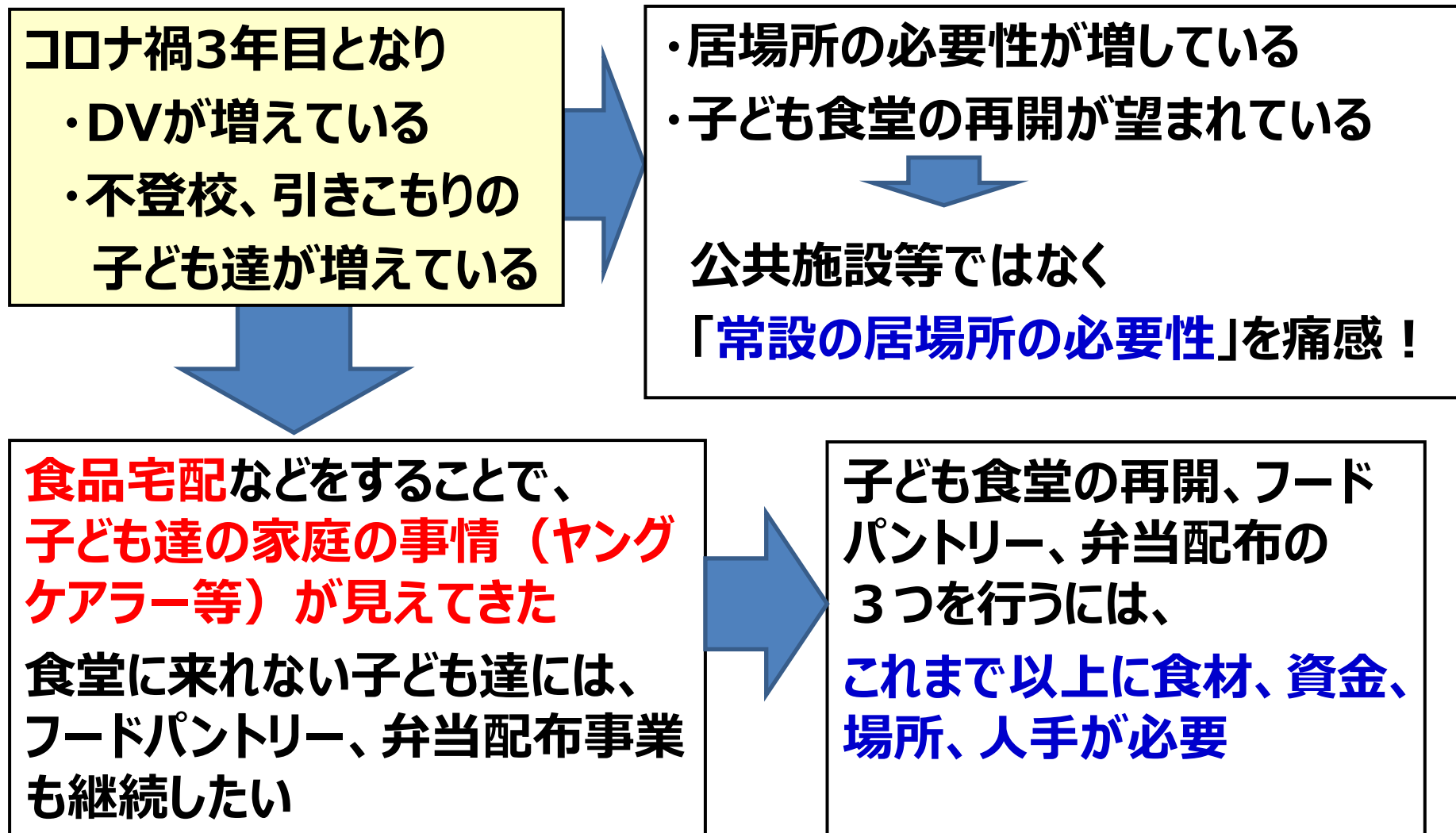
～食を通じたつながり・見守り・支えあい～」

一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事 平野 覚治

事例報告 ハスノハ子ども食堂 代表 渡辺 和美氏
グループに分かれた交流会

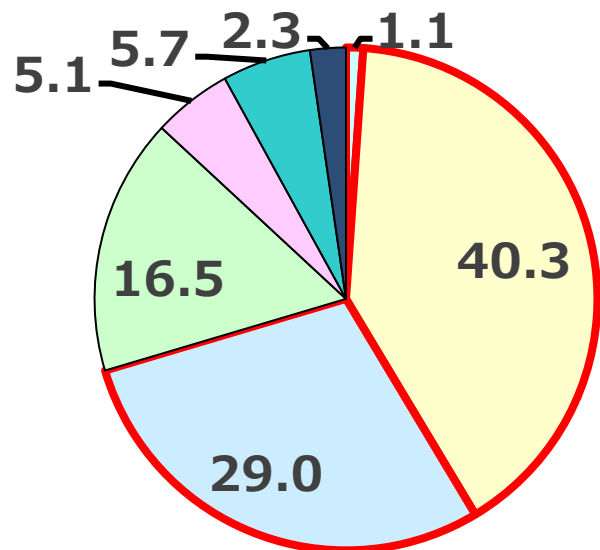


2. 財団の活動④ 居場所づくりサミット交流会での学び(例)



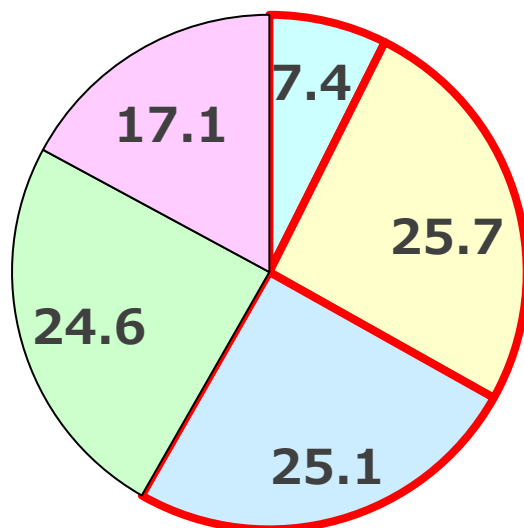
3. 子ども食堂の活動実態①

活動頻度



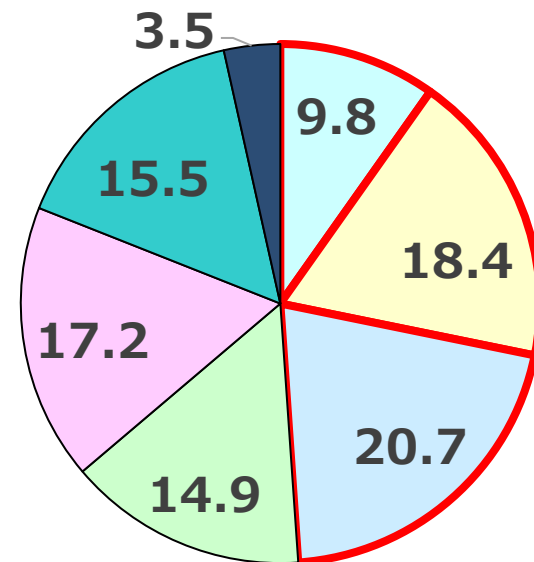
- 年に数回程度
- 月に1日程度
- 月に数日
- 週1~2回
- 週3~4回
- 週5~6回
- 毎日

提供食数



- 9食以下
- 10~29
- 30~49食
- 50~99食
- 100食以上

活動の年間支出額



- なし
- 10万円未満
- 10万円以上30万円未満
- 30万円以上50万円未満
- 50万円以上100万円未満
- 100万円以上500万円未満
- 500万円以上

参考：「2021年度 コロナ禍における食支援活動の
現状と食材支援に関する調査」の集計結果
(2022.4.15)

一般財団法人全国食支援活動協力会、
千葉大学人文科学研究院 清水洋行研究室

3. 子ども食堂の活動実態②

子ども食堂が寄付してほしい食材、食品

	なし	米	肉・魚	野菜・果物	総菜・冷蔵・冷凍の食材・食品	レトルト食品 インスタント食品	調味料	菓子類	飲料	お弁当	その他
寄付してほしい食材、食品	1.8	72.2	71.0	58.6	49.1	44.4	51.5	60.9	60.9	16.0	11.8
もっとも寄付してほしい食材、食品	1.8	27.4	35.7	4.2	6.5	10.1	1.2	6.5	2.4	1.8	2.4

参考：「2021年度 コロナ禍における食支援活動の
現状と食材支援に関する調査」の集計結果
(2022.4.15)

一般財団法人全国食支援活動協力会、
千葉大学人文科学研究院 清水洋行研究室

3. 子ども食堂の活動実態③

子ども食堂が困っていること

寄付を受ける必要はない	困りごとはない	量が足りない	量が多すぎる	必要な食材・食品の寄付がない (少ない)	保管スペースがない (足りない)	冷凍・冷蔵設備がない (容量不足)	受け取る場所がない	運搬手段がない	寄付に関する情報が 手に入らない	その他
0.0	14.5	15.1	2.8	22.9	50.8	54.7	16.2	14.0	17.3	13.4

参考：「2021年度 コロナ禍における食支援活動の
現状と食材支援に関する調査」の集計結果
(2022.4.15)

一般財団法人全国食支援活動協力会、
千葉大学人文科学研究院 清水洋行研究室

4. 企業と子ども食堂支援①

SDG s に取組みたい

寄付などの貧困対策、食品ロスの削減だけでなく、従業員の社会活動参加を拡大したい

子ども食堂支援は最適

- ・子ども食堂は支援しにくい
- ・近隣の団体等の支援にとどまる

活動の実態が見えない

- ・週に1回、月に1、2回の活動で貧困が救えるのか？
- ・見学に行っても貧困でない子どもが来ている
- ・ほとんど子どもが来ていないことがある
- ・食堂の利用料金を取っている

支援の効果測定が難しい

子ども食堂を支援するときの課題



全国に約6000あるといわれる子ども食堂に
食品をどのように送ればよいのか？

- ①生活困窮者を支援している子ども食堂は？ 届け先住所は？
- ②宅急便で送るにせよ、食堂開催日が団体によってまちまち。
- ③寄付したい商品を子どもたちは喜んでくれるだろうか？

届けることができたとしても、

- ④商品の特徴、使い方が伝えられて、おいしく召し上がってもらえるか？
- ⑤温度管理の不備で、品質に問題は出ないか？
- ⑥商品が余ったり、賞味期限を過ぎて廃棄されることはないか？
- ⑦子どもたちの反応などを教えてもらうことができるのか？
- ⑧転売されたり、SNSなどで適切でない情報が発信されないか？

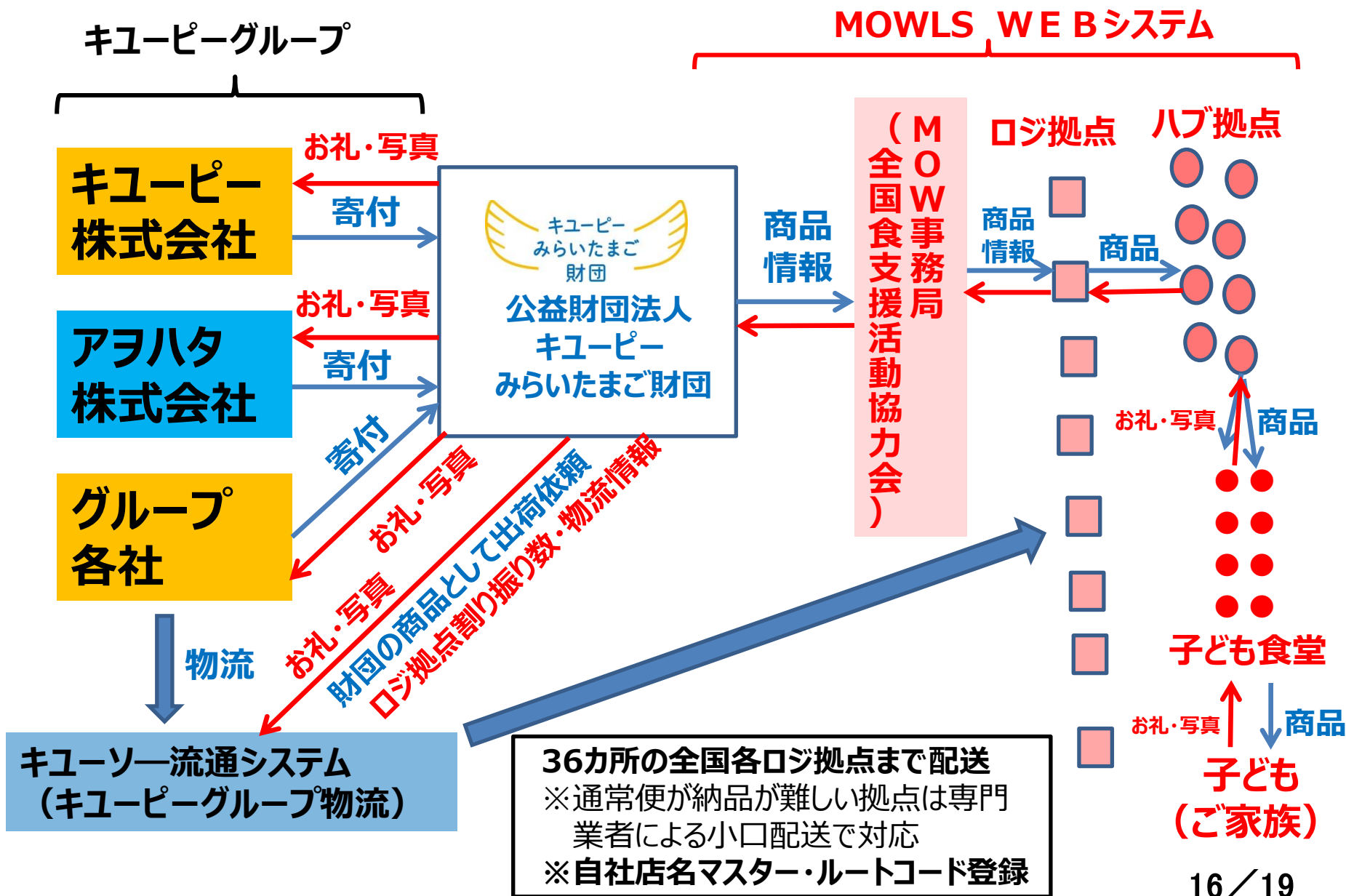
(提供する商品：通常の商品、在庫品など)

4. 企業と子ども食堂支援③

MOW（全国食支援活動協力会）様の
今までにない大規模な食品寄贈プラットフォーム
「ミールズ・オン・ホイール・ロジ・システム（MOWLS）」を
活用することで、
全国の子ども食堂への食品支援（寄付）が安心して、
確実にできます。



5. MOWLSの特徴と仕組み①



5. MOWLSの特徴と仕組み②

MOWLSの特徴

- 全国の子ども食堂・子どもの居場所に、確実にスピーディに食品寄付ができる
- 低温度帯（冷蔵、冷凍品）商品の寄贈もできる



それぞれの企業が得意分野で支援が可能

- 食品関連企業は、食品の寄贈
- 物流企業は、余剰の在庫スペース提供、配送支援
- 全ての企業が
 - ・子ども向け商品の寄贈や運営者への寄付金
 - ・従業員のボランティア支援
（商品荷受け作業、子ども食堂へのお届け等）

5. MOWLSの特徴と仕組み③

**MOWLSを使って寄付をすると、
お手紙やメール写真をいただけることもある**



2022年7月～8月、「キューピーあえる
パスタソース」72,000個を全国の子ども
食堂 1,905か所にお届け



2021年12月、キューピーハーフ、パスタ
ソース、冷凍いちご・冷凍りんごなど
約12万個を全国の子ども食堂約1,800
か所にお届け

ご清聴ありがとうございました

キューピーみらいたまご財団では
今年も**10月24日より、2023年度の助成公募を
開始します**。子どもを対象とする食育活動、居場所
づくりをされている団体さんの申請をお待ちしています。
→詳細は財団ホームページを御覧ください



子どもから高齢者まで多世代を つなぐ食の居場所について ～地域と共に歩むこども食堂の在り方～





東北の玄関口白河市、唯一新幹線の停車
する村西郷村「新白河駅」を中心に活動

山本光子の主な活動歴史

里山づくり植樹活動・森林環境教育・食育活動・料理教室

地域住民の憩いの居場所づくり

東日本大震災・原発事故後

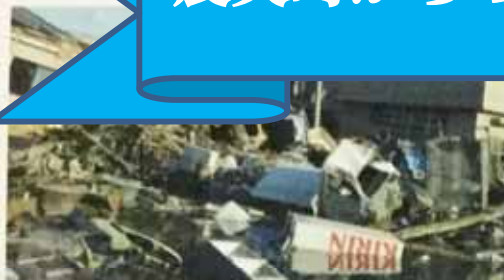
地域に根ざした花いっぱいide思いやり活動



2011年3月17日 始まり

震災時からのボランティア活動

トレーラーハウス陸





避難家族や地域住民との
世代間交流活動



◇◇連携の大切さ◇◇

官民との協力がささえあい活動実施の大きな力となる



小さな活動が大きな力に。
キーワードは「連携と継続」





『あんだんて』にみんなが集まり 心地よく過ごす場所づくり



地域に
元気と活気を！！

<http://s-andante.org>

= あんだんて活動実施実績 =

- ・平成23年1月(2011年) 障がい者の就労支援実施
- ・平成23年3月 東日本大震災原発事故発生後ボランティア活動開始
- ・平成24年1月(2012年) 一般社団法人 あんだんて設立
- ・平成25年4月(2013年) 福島県地域づくり総合支援事業(サポート事業)
「風評被害をぶっとばせ」
- ・平成26年4月(2014年) 福島県地域づくり総合支援事業(サポート事業)
「来て・見て・食べて・そして知ろう、ふくしま…!!」
- ・平成27年4月(2015年) 福島県地域づくり総合支援事業(サポート事業)
「来て・見て・食べて・そして知ろう、ふくしま…!!」
- ・平成29年4月(2017年) 福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)
「らふみーる(笑顔&食)コミュニティサロン」
- ・平成30年4月(2018年) 福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)
「きららかサロン」
- ・平成31年4月(2019年) 福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)
「健康地域交流体験教室」

= 子育て支援事業実績 = 2018-2020年

- ・平成30年4月 9日(2018年) 一般財団法人ふくしま未来研究会 広告協賛事業
- ・平成30年6月 1日(2018年) 福島県スタートアップ事業 らふみーる(笑顔&食)コミュニティサロン
- ・平成31年2月 8日(2019年) 白河市こども食堂応援補助金(らふみーる)
- ・平成31年4月13日(2019年) 一般財団法人ふくしま未来研究会 広告協賛事業
- ・平成31年5月10日(2019年) 白河市こども食堂応援補助金(らふみーる)
- ・平成31年5月24日(2019年) 福島県スタートアップ事業
らふみーる(笑顔&食) 西郷上野原コミュニティサロン
- ・平成31年4月 5日(2019年) 福島県地域で支える子育て推進事業
みんなで『らふみーる』(笑顔&食) ~今こそ食育、心と体の健康づくり~
- ・令和1年6月17日(2019年) 社会福祉法人福島県共同募金会
「赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト」2019年度
- ・令和2年3月17日(2020年) 公益財団法人福島民友愛の事業団社会福祉推進事業助成
- ・令和2年4月 3日(2020年) 社会福祉法人福島県共同募金会
「赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト」2020年度
- ・令和2年4月12日(2020年) 一般財団法人ふくしま未来研究会 広告協賛事業
- ・令和2年4月23日(2020年) 白河市こども食堂応援補助金(らふみーる)
- ・令和2年6月 1日(2020年) 真如苑 子ども食堂活動支援助成
- ・令和2年6月 1日(2020年) 福島県地域で支える子育て推進事業
みんなで『らふみーる』(笑顔&食) ~今こそ食育、心と体の健康づくり~

= 子育て支援事業実績 = 2021年

- ・令和3年2月15日(2021年) 一般財団法人全国食支援活動協会 毎日新聞東京社会事業団寄付助成「こども食堂運営継続応援プロジェクト」
- ・令和3年4月12日(2021年) 一般財団法人ふくしま未来研究会 広告協賛事業
- ・令和3年4月16日(2021年) 白河市こども食堂応援補助金(らふみーる)
- ・令和3年5月25日(2021年) 一般財団法人全国食支援活動協会 王将フードサービス「食を通して子どもの笑顔をつなごう」
- ・令和3年6月 1日(2021年) 福島県地域で支える子育て推進事業 「子ども居場所づくり&相談事業」
- ・令和3年6月 1日(2021年) 福島県地域で支える子育て推進事業 「白河市表郷地区・大信地区こども食堂開設事業」
- ・令和3年8月10日(2021年) 東日本大震災復興支援 サントリー東北サンさんプロジェクト「みらいチャレンジプログラム」
- ・令和3年11月25日(2021年) 白河市こども食堂 新型コロナウイルス感染症対策支援事業(らふみーる)
- ・令和3年11月25日(2021年) 白河市こども食堂 新型コロナウイルス感染症対策支援事業(しらかわ大信)
- ・令和3年11月25日(2021年) 白河市こども食堂 新型コロナウイルス感染症対策支援事業(しらかわ表郷)

らふみーる

笑顔 & 食



あんだんて



一般社団法人あんだんては、
「ふくしまこども食堂ネット
ワーク」の加盟団体です。



らふみーる (笑顔 & 食) こども & みんなの 食 堂

一般社団法人 あんだんて

子どもから高齢者まで多世代をつなぐ食の居場所

先生・親

今後第3の
居場所づくりの
取り組み



放課後・休日の時間を
有意義に過ごす

- ・・・「地域で子どもたちを育てる」
- ・・・豊かで、自分らしく過ごせる場所
- ・・・多くの経験や力を身につける
- ・・・「社会を生きる力」を育む
- ・・・第3の居場所学び舎を目指す
- ・・・様々な体験の機会を与える



祖父母・近所の人

- ・家庭ごとの孤立化
- ・・・ますます進む
- ・・・虐待やネグレクト
- ・・・問題誘発要因



- ・大人と子どものコミュニケーション
- ・子どもたちが外で遊ぶ機会



友達・兄弟

あなたの子育て 私たちが応援します！

ひとりで悩んでいないで、経験豊富な地域みなさんと子育てを共有しよう！

一般社団法人あんだんてでは、「子育て居場所づくり」と「子育て支援相談会」のふたつの事業で、子育てで不安や悩みを抱えるご家族を応援しています。

子育て居場所づくり

子育て中の親子と地域に住むシニアを対象に、様々なコミュニケーション教室を開催しています。折り紙、つまみ細工、塗り絵、パーソナルカラー診断、デコページ、カラオケ体験教室など、自由に温かい居場所を準備しています。地域のみんなが集まって、子育ての不安や悩みを共有してみてはいかがでしょうか？

毎週火曜日・木曜日
10:00 ~ 11:30
13:30 ~ 15:00
無料体験 実施中！

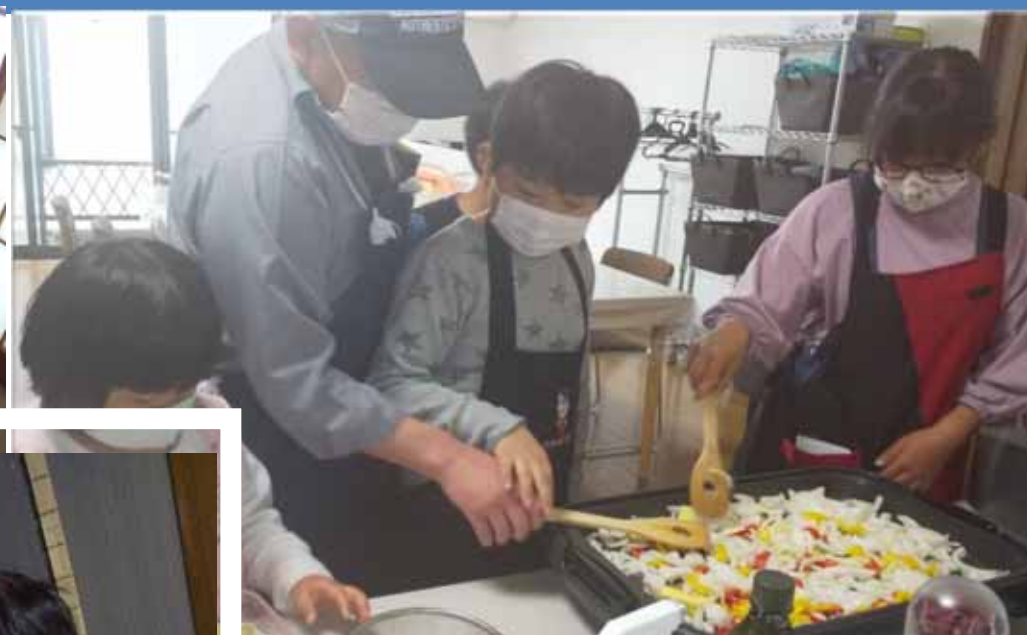


子育て支援相談会 (完全予約制)

専門スタッフによる子育て相談会です。子育てでわからないことや不安なことがあるけれど、どこに相談したらよいか…そんな時はあんだんての「子育て支援相談会」を頼ってください。人との交流や大人数が苦手な方は、個別相談も行っています。秘密厳守いたします。

毎週木曜日 10:00 ~ 11:30
13:30 ~ 15:00

子どもから高齢者まで多世代をつなぐ食の居場所

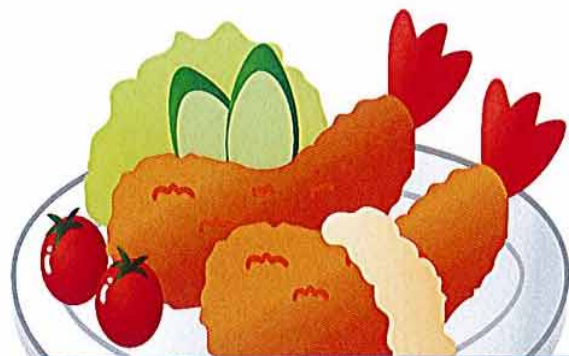


子どもから高齢者まで多世代をつなぐ食の居場所



= お気軽にご利用ください =

ふくしま子ども食堂ネットワーク県南



白河子ども食堂

白河市五番町河原 25-1 TEL0248-23-2723



らふみーる

子ども&みんなの食堂

白河市高山西 162-34

しらかわ大信子ども食堂

大信ひじりん館内

しらかわ表郷子ども食堂

表郷吉野家ファーム福島加工所内

申込 TEL090-3759-4109:山本



みらい子ども食堂

白河市北堀切 30-2 TEL080-3429-6685



わくわく子ども食堂

西白河郡西郷村前山西 39 TEL0248-57-4796



ほっこりキッチン宝っ子

西白河郡西郷村小田倉上野原 455-5 TEL080-5576-5605

★ 目標 ★
2025年までに
子ども食堂を
県南20か所にする

子どもから高齢者まで多世代をつなぐ食の居場所

居場所をひとりで
つくることは
できない！

居場所づくりを支
えていくために
企業の支援は必要

今後の課題
食支援の継続
に向けて
支援依頼活動
強化必須!!

食支援・食育活動による
拠点となる居場所づくりが大切

みらいの福島へ
安心して自分らしく
いられる居場所を広げていく
「まちを愛する心」と
「おもてなしの心」と
「交流＝つながること」
こんな気持ちで
いろいろなことが
実現できる!!

仲間と一緒に一歩踏み出そう

ユースプレイス県南



ユース
プレイス
とは

「学校は卒業したけど・・・これから先どうしよう」
「自分にできることって何だろう？」
「なにかをはじめてみたい」そんな
きっかけを見つけるための「居場所」です

活動 内容

- ・ゲームやおしゃべり
- ・ボランティア活動
- ・地域のイベントに参加
- ・個別面談
- ・季節に合わせたパーティー などなど

対象と なる方

- ・概ね15歳～39歳くらいの方
- ・働くことや人付き合いに一歩踏み出せない方
- ・仲間づくりがしたい方。仲間とともに過ごしたい方
- ・就労や就学についてのなやみを抱える方

お問い合わせ

ユースプレイス県南

〒961-0854 白河市高山西162-34
TEL 070-2014-9882(担当者直通)

ユースプレイス県南 ご利用のご案内

参加無料

- プログラム開催日は毎週、水曜日、金曜日、土曜日の13:00～17:00（祝日を除く）
- プログラムの全てに参加する必要はありません。皆さんのペースでご参加ください。
- 参加費は原則無料です。材料費等かかる場合は実費をご負担いただきます。
- 各町村での個別相談も実施していますので、お電話でお問い合わせください。

①まずはお電話でお問い合わせください。プログラム予定等をお伝えいたします。



②会場までお気軽にお越しください。利用登録、プログラムの説明を行います。



③ご自分のペースでプログラム利用スタート！



※「ユースプレイス自立支援事業」は、白河市と西白河郡内各町村、東白川郡内町村、及びこれらの周辺市町村より委託を受け、アネシス学院株式会社が実施する事業です。「ユースプレイス県南」は、就労や就学などで様々な悩みを抱える若者たちが様々なプログラムを通して「居場所づくり」「仲間づくり」を行う場所です。

お問い合わせはこちら TEL 070-2014-9882(担当者直通)

一般社団法人 あんだんて

ご清聴ありがとうございました 山本光子

世代の違う みんなで
一緒に活動しましょう

最近のこども食堂の活動動画

